

## まちづくり 最前線 **ルポ** ④④

### 介護サービス提供機関最前線④

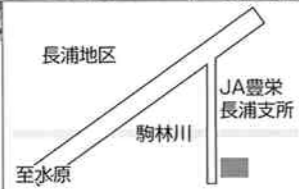
今回は、家庭を訪問し、食事、入浴、排泄の介助や炊事、掃除、洗濯など日常生活の手助けを行うホームヘルプサービスを提供する事業者の紹介です。



新潟介護サービス

新潟介護サービスは、豊栄市初の民間事業者として、昨年4月に設立し12月からホームヘルプサービスを開始しました。

ヘルパーは20人体制で、身体介護、家事援助、相談などの各サービス、業務を行い、多様化した介護ニーズに対応するため24時間体制としています。



JA豊栄市ホームヘルパー室

JA豊栄市は、4月からの介護保険制度開始に合わせホームヘルプサービスを提供しています。

ヘルパーは10人体制で、豊栄病院との連携を図りながら在宅生活のお手伝いをします。



3月10日(金)、市内中学校の5校で一斉に卒業式が行われました。今年度の5校の卒業生数は、男子が334人、女子が335人、合計669人でした。

早通中学校の卒業式では矢澤美義校長が139人の卒業生に対し、「情報はさまざまな視点から考えて、的確な判断を、また、助け合う心を持つ」と、はなむけの言葉を贈りました。



3月25日(土)、総合体育館で豊栄市陸上競技講習会「走るを遊ぶ」が開催され、約200人が参加しました。日本陸上競技連盟短距離コーチの川本和久さんの指導に、「説明はとてもわかりやすいけど、実際に走ってみると難しい」と、参加者の皆さんが互いにフォームを確認していました。



3月21日(火)、岡方第一小学校4年生28人が、鮭の稚魚約15万匹を阿賀野川に放流しました。これは、阿賀野川漁業協同組合岡方支部の皆さんが地域の子供たちから、実際に鮭の稚魚に触れてもらおうと行われました。放流された稚魚は、3~5年後に阿賀野川に帰ってくるそうです。

### 卒業おめでとう

### 陸上競技講習会

### 阿賀野川に鮭の稚魚を放流

### 新助役と新教育長が決まりました

3月1日、市議会の同意を得て、4月1日付で桑野前教育長が助役に就任しました。また、3月23日、市教育委員会定例委員会で、会田前葛塚小学校長が教育長に就任しました。

桑野新助役は、市企画課長、文化振興課長兼社会教育課長、教育長などを歴任。

会田新教育長は、市立早通南小学校、葛塚小学校長などを歴任。



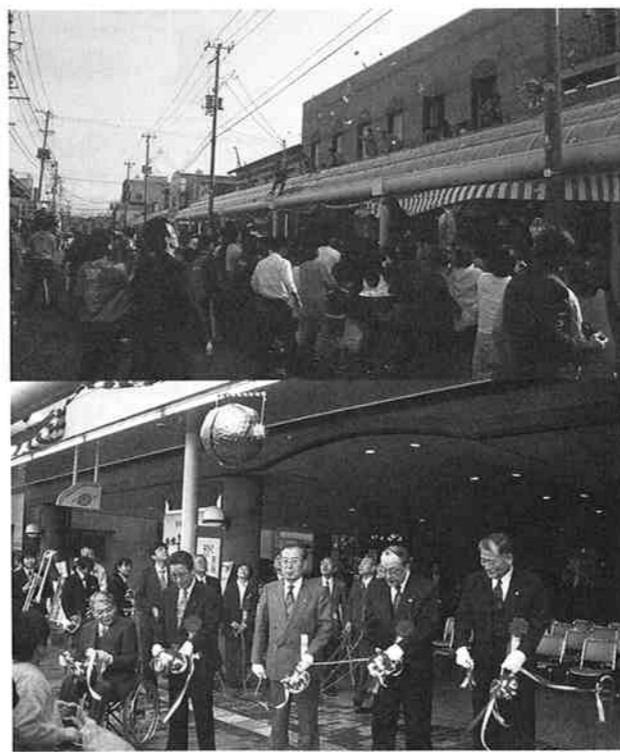
会田 修  
(東栄町二 59歳)

教育  
長



桑野 誠司郎  
(朝日町 58歳)

助  
役



### 豊栄駅前商店街に アーケードができました

3月18日(土)、豊栄駅前商店街のアーケード第1期工事が完了し、竣工式が挙行されました。アーケードは、福島潟をイメージした水色の屋根と、市の木であるケヤキを模した柱で、豊栄駅へ向かって左側約170mにわたり建設。竣工式の後、アーケードから、豊栄駅前商店街振興組合によるダンゴまきが行われました。



### リサイクルの拠点がオープン

4月1日(土)、チャイルドシート着用の促進とリサイクルによるごみの減量化、豊栄駅前商店街の活性化などを目的としたリサイクルショップ「ドレミ」の開店セレモニーが行われました。「ドレミ」は、豊栄市消費者協会の活動の拠点として、チャイルドシートをはじめとした資源のリサイクルを図ります。店舗には身体障害者協会の手作りの作品の展示・販売なども行っています。

セレモニー終了後、店はたくさんのお客さんでにぎわいました。



### いま、市民参加で福祉が変わる

3月11日(土)、総合体育館中体育室で、住みなれた自宅で安心して暮らせる地域づくりをと「ふれあいのまちづくりシンポジウム」を豊栄市社会福祉協議会が開催しました。

はじめに俳優の牟田悌三氏が「大事なことはボランティアで教わった」と基調講演し、その後、5人の方々によるシンポジウム。会場に訪れた約500人の人々は、ともに助け合い支え合う地域の大切さを改めて実感していました。